

～社長より～

《仕事の優先順位の見極め方》

「忙しい、忙しい」といつも言っている人がいる。そういう人に限って、「あれもしなきゃ、これもしなきゃ」と気ばかり焦って、一向に手が動いていなかったりする。そういう人は、実はたんに仕事の段取りが悪いだけ、ということが多い。仕事が重なって優先順位に迷った時は「必ず上司に相談する」。これを習慣にしておけばまず間違いない。その上でやるべき仕事を①自分一人ですること、②自分一人ではできない事、の二つに分けて考える。そしてまず自分一人ですることから片付けてしまう。その場合も簡単な仕事から片付ける。難しい仕事から手を付けると仕事がなかなか減らないばかりか、心身の負担が増すばかりでいい事がない。簡単な仕事から片付けると、仕事の減りも早く精神的にも楽になる。そして自分一人ではできない仕事は、上司に指示などを仰ぎ、必要に応じて社内外の協力を得ながら仕事を進める。自分一人ではできないのだから、一人で思い悩むのはナンセンスだ。分からない事は分かる人に頭を下げて聞く。そうすればたいいの仕事はうまくいく。

大きなトラブルに見舞われた時も、上司に素早く報告し、自分がすべきことをすべてやり終えたら、その後に悩むことに意味はない。しっかりと反省して、次に同じ間違いをしない様に検証したら、自分で悩んでも仕方ない事は頭から追い出して、自分がすべき仕事に集中しないといけない。

酒巻久(キャノン電子社長)「見抜く力」より

【新年会開催しました！】



平成28年1月5日、本社3階で恒例の新年会を開催しました。グループ会社を含め、86名が出席しました。

石田会長と勝部社長の年頭あいさつに始まり、石田リフォームネットの安井会長の乾杯で新年を祝いました。また、各部所長が今年度の抱負、決意を述べ、昨年入社した新入社員の紹介をしました。

社員がほぼ全員集まるのはこの新年会くらいしかありません。短い時間ではありましたが、交流を深め楽しい会でした。記念撮影も今までは本社3階で撮っていましたが、収まりきらなくなり2年前から玄関で撮影するようになりました。



【LIXIL モノづくりに対する意見交換会】



昨年12月16日に本社3階会議室にてLIXILとの意見交換会を開催しました。LIXIL Water Technology Japanの営業本部長をはじめとする10名と当社会長他各部所長9名の合計19名で行われました。現状の把握、商品について、今後の対応など活発な意見交換が行われ、14時から17時まで3時間があっという間に経ったようです。



お互いが持っている情報を共有することで今後の商品開発や営業活動に活用していくことができるのではないのでしょうか。こういった機会を設定くださり、ありがとうございました。

出雲営業所より

新たなる年を迎え良き日々をお過ごしと思います。

出雲営業所の紹介をさせていただきます。職員男性6名、女性2名で互いを思いやり、助け合う心を大切に丸となって頑張っております。昨年12月22日に忘年会を行いました様子の写真ですが、「一年間お疲れ様でした。平成28年度も頑張りましょう」と座敷でゆっくりとテーブルを囲い、食べて飲んで話も弾み、あっという間に時間も経ち楽しく過ごしました♪

クリスマスイブには、ご家族、彼氏、彼女とイルミネーションを見ながらケーキを食べたりと、楽しく過ごされたのではと思います♪

出雲には昨年、ドンキホーテがオープンし、多くのお客様が来店されています。また、今春にはイオンモール出雲店のオープン予定もあり、建物も出来上がりつつあります。山陰道松江～尾道線開通により山陽方面からの時間も短縮され、多くの方が出雲へ出かけられるのではと思います。今年にはさらに変化のある都市になると思われますが出雲営業所職員一同心から良きサービスを行ってまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



【鳥取県管工事業協会東部支部の親睦ボウリング大会】

新春恒例の親睦ボウリング大会が1月29日に鳥取スターボウルで開催された。競技には18社から68人が参加。1人2ゲームで熱戦が繰り広げられました。わが社からは鳥取営業所の藤原さん、河上さん、西本さん、森さんの4名が参加しました。結果は河上さんが見事3位になりました。

おめでとうございます！！



【販売管理システムのバージョンアップ】

3月22日(火)より、販売管理システムがバージョンアップします。内容は、

- 工事管理システムが新たに加わります。
- データ抽出がDateShowに変わります。

工事管理システムは松江支社の工事統括部がメインに使用しますので、その他の方は今までとほぼ変わりません。

DateShowについてはデータ抽出の起動にかなりの時間がかかっていましたが、それが解消されます。

バージョンアップの作業等については改めて連絡しますので、宜しくお願いします。

～編集後記～

今年の冬は1月の終わりの大寒波で水道管の破裂などが発生したかと思えば、2月には気温が20度になったりとエルニーニョ現象の影響なのかどうなっているのかと思ったりしました。大寒波の時は普段当たり前に使っている水が使えなくなるだけで、かなり不便だと感じる事ができ、改めて水の大切さを思い知らされました。(美濃)

【日南物産より】



中海・宍道湖・大山圏域を中心に、山陰の農産品、加工品など選りすぐりの逸品を一堂に集めて展示・販売をする「山陰いいものマルシェ」に参加します。

日時:平成28年3月20日(日) 11:00～16:00

会場:ホープタウン(米子市米原2-1-1)

豆知識 (お役に立てれば光栄です)

ペルーの首都リマは砂漠地帯にある世界で2番目の大都市で、年間降水量が著しく少ないため飲料水の確保が大きな課題になっています。そんな社会問題を解決に導くべくペルーの有名工科大学「UTEC」が着目したのが、大気中に含まれる“水分”(湿気)です。ペルーは降水量の少なさと反対に湿度が98%もある非常にじめじめした地域ですが、同大はこの湿気を“飲み水”に変換させるシステムを搭載した看板をロードサイドに設置しました。(右上写真)1つの看板で3ヶ月間に9,450リットルの飲料水を生み出すことに成功したそうです。

